

自己研鑽に励んでいます

リハビリテーション技術部



外部講師をお招きしての研修会

ことで診療の質を高めています。中には講師の先生と15年以上継続している歴史ある研修会もあり、リハビリテーション技術部の発展に必要な不可欠な存在となっています。また、最近はこのようにして獲得した知識・技術を、講師として外部に向けて発信するスタッフも増えてきました。

昨今の新型コロナウイルス感染症流行に伴い、研修会に集まること自体が難しくなっていますが、下の写真は30名の外部受講生に対し、当院スタッフが講師としてオンラインで工夫を凝らしながら、研修会を開催するために準備をしている様子です。

これからも、スタッフ一同皆様のニーズに合わせて楽しくリハビリテーションを行えるよう精進して参ります!!



外部講師とオンライン打合せ時の記念撮影



外部向け研修会で発表の準備

リハビリテーション技術部では、患者・ご家族に満足して頂けるリハビリを提供するため、法人内(千鳥橋病院や附属診療所を含めた法人全体)のスタッフを対象とした研修会を企画運営し、また、外部の研修会に積極的に参加するなどして、自己研鑽を行っています。

当法人リハビリテーション技術部主催の研修会は、年に20回ほど開催しています。外部の講師をお招きして新しい知識・技術を取り入れ、スタッフ全体で共有す

たたらリハビリテーション病院通信

みんなそろって

タラッタ

たたら

vol. 48
2022年1月号



2022



新年あけましておめでとうございます

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が起きてから、今年で3年目を迎えます。注視すべき不安材料は多々ありますが、マスク着用や手指消毒などの感染防止策が生活の一部となるなど、コロナ前とは違う生活が日常化してきました。

新年にあたり、Withコロナの時代を見据えつつ今後の医療・ケアをどのように展開していくかを考え、地域に少しでも貢献できる病院でありたいと、職員一同心新たにしております。

HPH(WHOが進める健康増進拠点病院のネットワーク)登録施設として、地域の健康づくりを旗印に、医療介護活動、地域活動をさらに進めて参りたいと存じます。

引き続き、皆さまのご指導の程よろしくお願い申し上げます。

今年の年女、年男の職員に新年の抱負を語ってもらいました。



4階病棟・看護師
合屋 エリ

4階病棟へ異動して3年目となり、10月より初めての経験となる師長代行を務めています。病棟スタッフや他職種と協力しながら患者・家族の信頼を得られるように、今後も頑張ります。



6階病棟・介護福祉士
品川 泰弘

「元気があれば何でも出来る!!」患者さんが治療に専念でき、元気になる環境を提供します。無差別平等の医療を提供するチームケアの一員として頑張りたいと思います。



リハビリテーション技術部・作業療法士
中村 純

入職してから今までは初めての経験ばかりで様々な方に支えてもらってばかりでした。2月に千鳥橋病院に異動し環境が変化するので新しい環境にも慣れ、自分で考えて行動する力を培いたいと思っています。



発行元/公益社団法人福岡医療団 たたらリハビリテーション病院広報委員会
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66 TEL:092-691-5508 FAX:092-691-5634

<http://www.tatara-reha.jp>

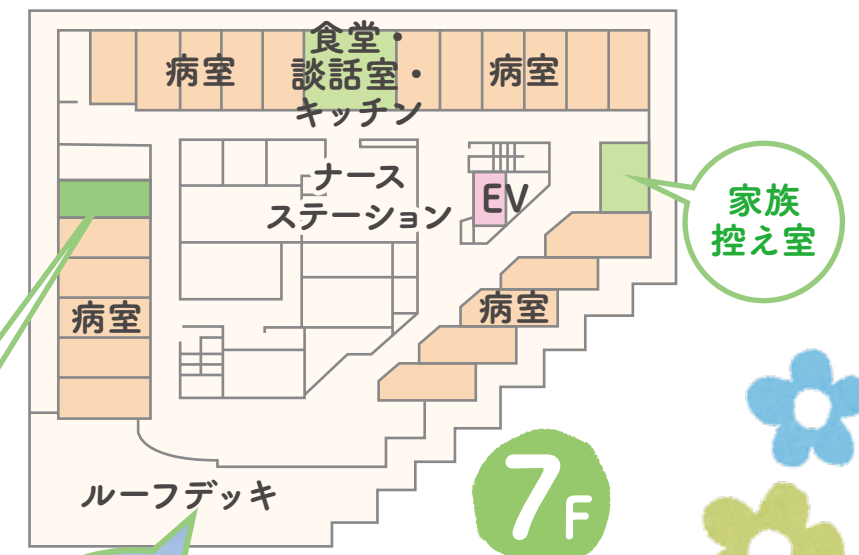
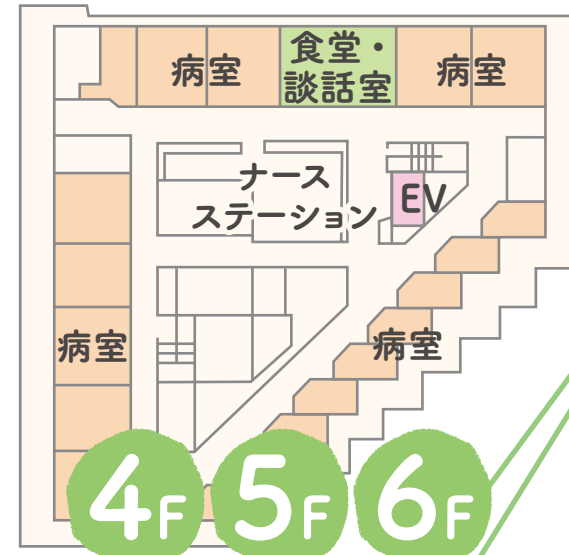
たたらリハビリ



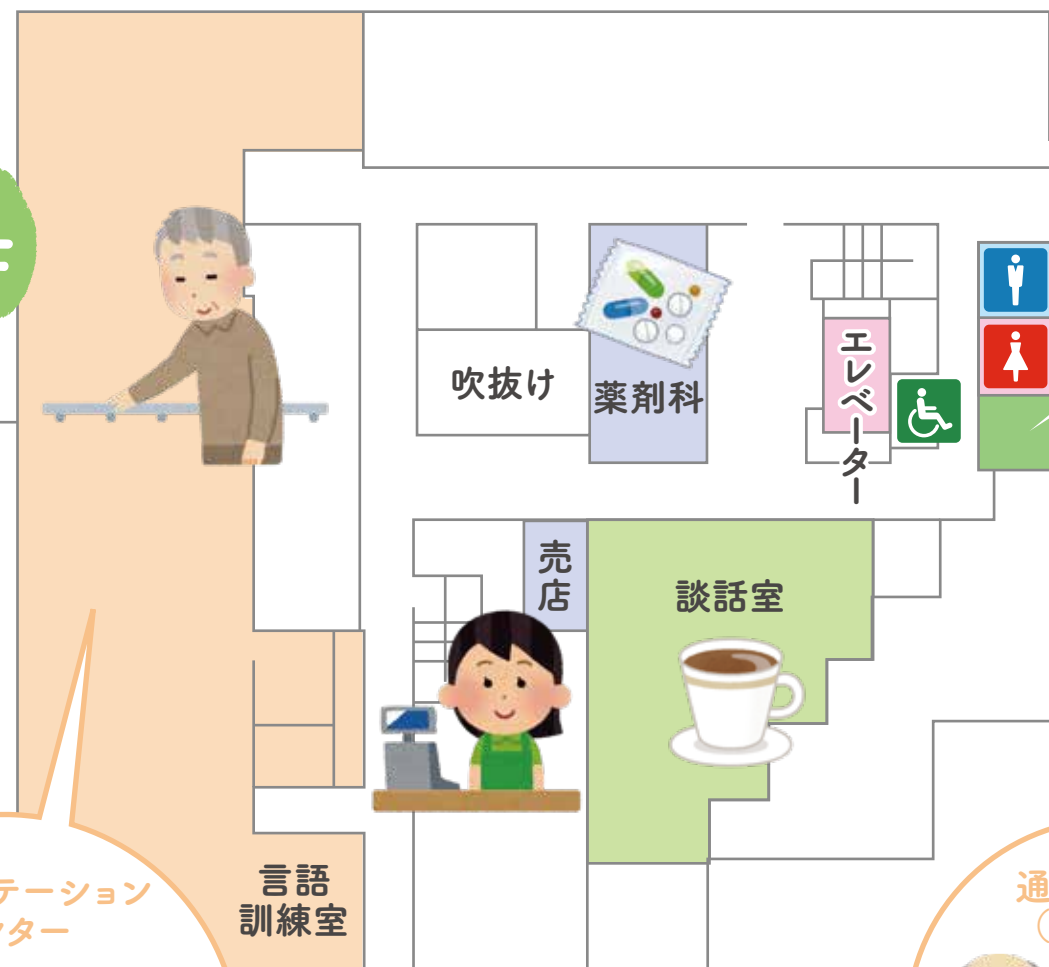
たたらリハビリテーション病院は、日本医療機能評価機構認定病院です。

当院各フロア のご紹介

- | | |
|----|----------|
| 7F | 緩和ケア病棟 |
| 6F | 医療療養型病棟 |
| 5F | 障害者施設等病棟 |
| 4F | 医療療養型病棟 |
| 3F | 地域包括ケア病棟 |



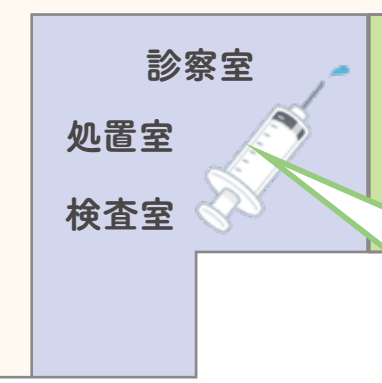
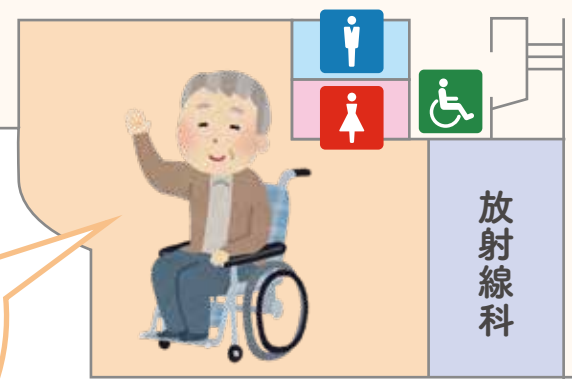
2F



入口



広々としたリハビリテーションセンターでは、それぞれの専門スタッフが、マンツーマンで接するゆとりのある治療法を行っております。また、食堂談話室の中には図書コーナーも完備。患者さんに楽しんでいただけるよう心掛けています。（※感染防止のため図書コーナーは現在閉鎖中）



1F

ゆったりと広いロビー、総合受付がある1階は、外来の診察、歯科外来、そしてダイケア（通所リハビリテーション）を設置しています。その他、医療や介護のあらゆるご相談をお受けする医療相談室もございます。